



2022年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社ツナググループ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 米田 光宏
(コード番号：6551 東証スタンダード)
問合せ先 事業経理室室長 沼畑 正輝
(TEL. 03-3569-2790)

連結業績および個別業績の前年実績との差異に関するお知らせ

2022年9月期の連結業績及び個別業績につきまして前期実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 前年実績値との業績差異について

- (1) 2022年9月期の通期連結業績の前年実績値との差異
(2021年10月1日～2022年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益
前期実績 (2021年9月期) (A)	百万円 11,025	百万円 △105	百万円 △98	百万円 △212
当期実績 (B)	12,721	215	213	491
増 減 額 (B-A)	1,696	320	311	704
増 減 率 (%)	15.4	—	—	—
(ご参考) 前回発表予測 (2022年5月16日公表) (C)	12,000	200	200	
増減額 (B-C)	721	15	13	
増減率 (%)	6.0	7.8	6.5	

(2) 2021年9月期の通期個別業績の前年実績値との差異
(2021年10月1日～2022年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前期実績 (2020年9月期) (A)	百万円 1,125	百万円 10	百万円 125	百万円 △207
当期実績 (B)	1,414	12	110	441
増 減 額 (B-A)	288	1	△14	649
増 減 率 (%)	25.6	14.5	△11.9	—

(3) 業績差異の理由

2022年9月期の連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で引き続き弱い動きとなっているものの、個人消費回復の動きを受け、飲食業・小売業などでにぎわいが戻りつつあります。

一方、採用活動が追い付かず、人手不足の状況が顕著になりつつあり、このような環境のもと、当社グループの売上高は前期比で15.4%の増収となりました。

費用面においては、2021年9月期に推し進めた事業会社の再編や大幅なオフィス縮小統合などによる固定費削減を実現できている一方で、売上成長のための投資強化により原価（労務費、仕入れ）及び販売管理費（広告費等）が増加しておりますが、2022年9月に行った株式会社HRソリューションズに対する資産承継により、親会社に帰属する当期純利益については前期比704百万の増益となりました。

2022年9月期の個別業績につきましては、2019年4月の持ち株会社体制に移行して以来、グループ全体の企業価値向上に向けた事業を展開しており、グループ経営体制の充実に向けた各種施策の実施等により売上高は増収、営業利益も増益となりました。

詳細につきましては、本日開示しております2022年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）をご覧ください。

以 上